



だより

☆卒業生のみなさんへ☆

ご卒業おめでとうございます。



2年前、皆さんは「保育者になる」を夢見て目をキラキラ輝かせて入学しました。

1年目は、様々な授業や行事・地域連携授業の中で「研究すること」「協働すること」の大切さを実感したと思います。

2年目は、コロナ禍の中で対面授業が2ヶ月中止となり、実習が延期され、大変な状況の中、頑張りました。図書館の絵本をたくさん抱えて実習に臨みました。

卒業してから図書館を活用してくださいね♥

学生生活は充実した、学びの多い2年間だったことと思います。その経験が素敵な財産です。大学で学んだことや築いた友人関係は、きっと今後の保育者としての人生を支えてくれます。

そして、晴れて卒業を迎えます。

現場は、楽しいことだけでなく、辛いこともあります。壁にぶつかったら、これまで学んだ研究を基に、新たな学びをして乗り越えましょう。子どもの笑顔が支えてくれます。



今後の社会人としてのご活躍を期待します。

(図書館長 丸山アヤ子)

第12号
2021年
3月12日

暖かい日が多くなってきました。新生
活を迎える春。良いスタートを！

☆新2年生のみなさんへ☆

進級おめでとうございます！

今年は保育者の卵からひな鳥として保育現場へ

羽ばたいていく準備の年ですね。時間がある学生時代だから

こそ、自分なりの保育観をじっくり考えて欲しいと願います。

そこで今回は私なりの保育観を少しだけお話ししたいと思います。

「啐啄」(そつたく)という言葉をご存知ですか？この言葉は、ひな鳥が卵の殻を内側からくちばしで突いて出ようとする、その様子に気づいた親鳥が外側から卵の殻を突き、ひな鳥が自力で出るのを手助けすることを意味しています。まさに親鳥とひな鳥の想いが点と点を結び合うに通じ合い、ひな鳥が力強く外の世界へ歩み出す生命誕生の瞬間と言えます。

啐啄は、保育者と子どもとの関係にも通じるものがあるように感じます。子どもは自ら伸びゆく「ひな鳥」のような驚くべき力を秘めています。一方で「親鳥」である保育者には、子どものゆるやかな成長を温かい眼差しで見守り、時に子どもが自力で困難を乗り越えていくことを手助けしながら、秘めた力を引き出していく役割があると考えます。そして保育現場は日々、このような教育的瞬間と喜びに満ち溢れているように思うのです。

残り少ない学生生活ですが、大学で思いっきり学び、自分の保育観を築き、友人と語り合う時間を大切にしてください。そして1年後は、自信と覚悟を持って保育人生のスタートを切ってください。1年間、本当にありがとうございました。

(金子智昭)

イラスト『四字熟語の百科事典』より



先生のオススメ本

平井 厚志 先生

「かもめ幼稚園」

作者 黒野 伸一

発行 メディアファクトリー



この小説は、短大を卒業して「かもめ幼稚園」年中組を担当している、二十歳の新米教諭「ちかこ先生」の4月から9月末日までの、怒濤の奮闘を描いたものです。

ちかこ先生の周りには、小生意気だがどこか憎めない子どもたち、文句ばかりで攻撃的なママさんグループ、日和見的な園長先生、だるそうな生き方だが、仕事ができる六歳年上の指導教諭「まどか先生」、優柔不断な恋人が登場します。そんな中で、幼稚園で日々子どもや保護者との戦いに孤軍奮闘。トンチンカンな行動も時々してしまいます。保育者という仕事に向いていないと真剣に思い悩み、寝込んだり、最後には、幼稚園の先生以外に進む道はないのではと思ったりもします……。

フィクションですが、幼稚園の日常がリアルに描かれており、きつとこんな話もあるのだなと納得してしまいます。現実離れた話も多々ありますが、これから保育者になる皆さんには、軽い気持ちでの一読を勧めます。いざ、保育現場で現実に起こった時、ほんの少しだけ心が軽くなることをお祈りして。





【図書館だよりブックリスト】

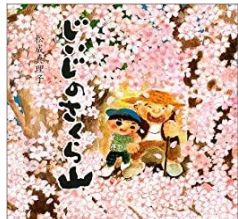
毎号、みなさんの「今」に寄り添う本をご紹介します。
ぜひ図書館に来て手に取ってみてくださいね。
わからないこと、知りたいことがあるときには図書館スタッフに遠慮なく声を掛けてください。
ご来館をお待ちしています！



☆春を感じる絵本☆

卒業生のみなさんは、4月から先生となって、忙しい毎日をおくることでしょう。
新しく出会う子どもたちと一緒に、絵本からも春をたくさん感じてください。
読み聞かせで、楽しいひとときを過ごせるといいですね♪

じいじのさくら山（年長向け）



毎年春にきれいに花を咲かせる、じいじがつくったさくら山。桜が咲くたびに思い出す、じいじと過ごした優しい時間。

じいじとお別れがかなしくもありますが、心温まる物語です。
温かなタッチの絵が素晴らしく、満開の山桜の絵の美しさは圧巻です。

松成真理子 作 / 白泉社



ぐりとぐらのえんそく（年中向け）



みんなだいすき、ぐりとぐらシリーズ。
おいしいものをたくさん詰め込んだずっしり重いリュックを背負って、春の野原にでかけるぐりとぐら。
春の遠足のウキウキ感が伝わりまします。

♪いくらリュックがおもくてもくたばらないぞぐりとぐら
えんそくのたのしみはリュックのなかのおべんとう
ぐりとぐらぐりとぐら♪
読み聞かせをしている先生も聴いている子どもたちもぐりとぐらと一緒にうたいながら春の遠足を楽しんでみてくださいね(*'▽')

中川李枝子 文
山脇百合子 絵
福音館書店

はるかぜさんぽ（2歳～年少向け）



えがらしみちこ 作
講談社

お気に入りのワンピースきて、あたらしいおくつをはいて、じゅんぴできたよ、いってきまーす。
春のそよ風がふくいちにちに、おさんぽで出会ったのは？たんぽぽ、ちょうちょう、やさしい風.....季節感がみずみずしいタッチで描き出されます。春のおさんぽに出かけたい絵本。
『あめふりさんぽ』『さんさんさんぽ』『ゆきみちさんぽ』につづく、人気シリーズ最新作(amazonレビューより)

小型の絵本ですが見開きで一枚の絵が構成されているので、クラスでの読み聞かせにも向いています。柔らかく、とてもかわいらしい絵です。

たんぽぽ（年中～年長向け）



平山和子 文 絵
北村四郎 監修
福音館書店

春の植物、タンポポの生態のわかる科学絵本。実物大に描かれた80センチをこえるタンポポの根は、大人にも驚きを与えてくれます。

ところで、タンポポの花は小さな花のあつまりだって知っていましたか？1本のタンポポにいくつの花があつまっているのでしょうか？答えは、この絵本のなかに...
綿毛をふーっとするのが大好きな子たちと一緒にタンポポ博士をめざしましょう！

埼玉純真短期大学図書館は、卒業後も貸出しを含めた図書館サービスが利用できます。

時間を見つけて、ぜひお越しください。

また、蔵書検索でキーワードをもとに、絵本について調べすることもできます。
本選に迷ったら、埼玉純真短期大学図書館OPACを検索してみてください。

【おすすめのサイト ご紹介】

★カーリル : <https://call.jp/local/>
主に公立図書館の蔵書を横断検索できるサイトです。
探している本が最寄りの図書館にあるかが調べられます。

★絵本ナビ : <https://www.ehonnabi.net/home02.asp>

絵本、児童書の紹介サイト。
試し読みができる絵本もあります。

対象年齢別、テーマ別など様々な角度から絵本選びをサポートしてくれます。



カーリル™

EhonNavi
Picture Books for Happiness